

## Learning Caféを開催しました

### ◆第1回Learning Café

(担当：佐々木知彦 教育開発支援センター研究員)

アカデミックスキルの基礎を身につけるミニワークショップ「ラーニングcafé」。秋学期も「文章を読むコツー速読と要約」からスタートしました。繰り返し開催してきたテーマですが、今回はより実践的なトレーニングを取り入れました。その結果すべての参加者が、ワークの序盤と終盤では同じ時間で読める量が増えていることを確認できました。アンケートでも「内容に無駄がなく、ためになることばかりだった。

時間も短くて集中できる。雰囲気が楽でよい」との声があり、好評のうちに終了することができました。

今回は日本語の文章を扱いましたが、英語の速読についても取り上げてほしいとの要望もあり、検討中です。今後もさまざまなテーマで展開して参りますのでご期待下さい。

(教育推進部 佐々木知彦)

日時：2017年10月11日(水) 14:50～15:50  
場所：凜風館コラボレーションコモンズ



Learning Caféの様子(10月11日)

### ◆第2回Learning Café

(担当：千葉美保子 教育開発支援センター研究員)

2017年10月18日に、Learning Café「明日の講義から使える!『ノートの取り方』のコツ」を開催しました。

今回のLearning Caféでは、大学での学びに重要なスキルである、ノートテイキングをテーマとしました。

まず、高校の授業と大学の講義の違いを確認した上で、講師から具体例を提示しながらノートの書き方についてのミニレクチャーを行いました。その後、参加者は5分程度のミニ講

義を聴き、実際にノートを取る作業にチャレンジしました。

春学期のLearning Caféでは参加者の多くが1年生でしたが、今回は上級生の参加が目立ちました。参加者からは、「板書を写すだけではノートを見直してもわからないが多かったが、疑問点を書き留めることで、忘れ辛かった」「コーネル式ノートを友達に進める時にどういう風に話せば伝わるかということも教えてもらった」など、今後の講義へ向けた前

日時：2017年10月18日(水) 14:50～15:50  
場所：凜風館コラボレーションコモンズ



Learning Caféの様子(10月18日)

向きなコメントが寄せられました。

(教育推進部 千葉美保子)

### ◆第3回Learning Café

(担当：多田泰紘 教育開発支援センター研究員)

2017年10月25日(水)にLearning Café「プレゼンの基礎-口頭発表のコツ-」を開催しました。授業や研究発表、面接など学生生活の様々な場面で必要になる「プレゼン発表」について、聞き手にも話し手にもやさしいプレゼンの作り方、発表方法のレクチャーとワークを行いました。

まず簡単なレクチャーを行ったあと、参加学生に話しにくいスライドと話しやすいスライドの違いを体験してもらいました。学生はいきなり話すことに戸惑っていましたが、緊張しても上手

く話せるスライドについて考えることができたのではないのでしょうか。次に、講師である私がレクチャー内で使った、聞き手を会話に引き込む話し方をクイズとして出題し、参加者に当ててもらいました。クイズを通じて、自己紹介や質問の誘導を取り入れた聞き手を巻き込む口頭発表のコツを紹介しました。話し手と聞き手の会話を促すプレゼン発表がもつ、やさしさと使いやすさと心強さをお伝えできたと思います。

今回のLearning Caféが、学生にとって話しやすい口頭発表につながれば嬉しい思い

日時：2017年10月25日(水) 14:50～15:50  
場所：凜風館コラボレーションコモンズ



Learning Caféの様子(10月25日)

ます。

(教育推進部 多田泰紘)

## 書籍紹介

### 『教育の方法と技術—学びを育てる教室の心理学—』(2017年10月にナカニシヤ出版より発行)

本書は9名の大学の研究者と5名の小・中・高等学校教諭や学校心理士・臨床心理士による、研究と教育現場の合作であることに特徴を持つ。教えること・学ぶことに関わる学習観や教授・指導観、知識をどうみるかという知識観を概観した上で、具体的な教えることの工夫・その技術、特に学びを育てる教授法としてのアクティブラーニング、学びを育てる環境としてのラーニ

ングコモンズ等の設計の重要性に触れ、ICTを活用した授業の基本的哲学、具体的な活用スタイルの紹介がされている。またそうした教育活動の振り返りとしての教育評価の方法、特に質的な評価の在り方も述べ、本書を手にする者がすぐにも教育研究に取り組めるよう質的研究法の概説も行っている。これらの章の合間にコラムで、現場の教師・臨床心理士等の実践も生々

しく紹介している。

教職科目の教育方法・技術論のテキストとして編纂したものであるが、教育の質の向上に関心を持たれるすべての方の目に触れていただきたいと願っている。

田中俊也

(前・教育開発支援センター長：文学部教授)

本書は、田中俊也前教育開発支援センター長に加え、教育推進部森房子教授および岩崎千晶准教授が執筆者となっております。

